

徳島県治山林道協会

治山林道協会報
新年のあいさつ

徳島県治山林道協会会長 山口 俊一



令和七年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご壮健で新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本県の治山林道事業推進に格別のご支援、ご協力をいただき、重ねて厚くお礼を申し上げます。

先ず以て、昨年の元旦に発生した能登半島地震、及び七月から九月に発生した豪雨により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。そして一日も早い復旧復興を心よりお祈りいたします。

さて、今年の干支は「乙巳（きのと・み）」でございますが、「乙」は、木の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へ広がっていく事を意味します。そして「巳」は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。このことから、「乙巳」の年は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になると言われています。

昨年は、様々な経済活動がコロナ前と同様に行われ、人の動きが活発化し、また、インバウンドの増加等により、日本経済は緩やかに持ち直してきました。しかしながら、世界に目を向けますと、長引くウクライナ危機や中東情勢の緊迫化に加え、第二次トランプ政権の発足に向け、予断を許さない国際情勢が続いています。更には、円安が続く諸物価の高騰が生活を直撃するとともに、政治の世界においても、政治資金問題で自民党が衆議院選挙で大敗し、少数与党になるなど、波乱に満ちた一年でした。

また一方、山村地域に目を向けますと、ウッドショックや急激な円安基調によるエネルギーや物価の高騰により、地域経済を取り巻く現状は厳しさを増しております。更に追い打ちを掛けるように気候変動の影響に伴う、線状降水帯による豪雨

や大型化する台風などにより、河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。

このような状況の中、林野公共事業におきましては、経済対策のみならず、事前防災・減災や復旧対策の充実と強化などの「緑の国土強靱化」そして「地方創生」や「花粉症対策・グリーン成長」の実現を目指す「幹線林道を核とした路網整備」を推進するため、更なる予算確保に向けて、「2024治山・林道のつどい」や森林整備・治山事業促進議員連盟緊急決起大会などの各種要望活動を展開して参りました。そして、政権与党として「国土強靱化」「林業の成長産業化」に向けた軸足だけは狂わないよう、しっかりと議論を進めて参りました。

その結果として、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」、「路網の整備・機能強化対策」、「花粉症対策」などの林野公共関係予算（治山・森林整備）は、令和六年度補正予算と令和七年度当初予算と合わせますと、一、七三五億円に達し、目標額である二、六〇〇億円を七年連続でクリアするとともに、昨年より五三億円増という大きな成果を上げることが出来ました。

これからも「予算の確保」「事業の着実な執行」にあたりましては、当協会の会長として、また、「森林整備・治山事業促進議員連盟」（社）日本治山治水協会・日本林道協会」の会長として、これまでに以上に治山林道事業の推進に精一杯努力して参ります。

今年の干支、「乙巳」は、多くの人にとって成長と結実の時期になるそうなので、コロナ禍以降の停滞し続けていた世の中が、着実に前進する年になることを心より願っております。

結びとなりますが、今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員皆様の更なるご活躍、ご健勝を心より御祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

目次

CONTENTS

- | | | |
|--|-----------------------------|----------------------------------|
| ● 新年のご挨拶 | 徳島県知事 後藤田正純 …… 1 | ● 土育推進プロジェクトチーム …… 11 |
| ● 新年のご挨拶 | 徳島県農林水産部長 中藤 直孝 …… 2 | ● 年男の抱負 …… 12 |
| ● 治山林道事業に関する知事への要望 …… 3 | ● 2025年度版 全森建福祉共済制度 …… 13 | ● 令和6年度 全国森林土木建設業協会写真コンクール …… 15 |
| ● 「2024治山・林道のつどい」及び治山・林道コンクール表彰式の開催 …… 5 | ● とくしま木づかいフェア2024への出展 …… 15 | ● 本協会の主な動向(10月～12月) …… 15 |
| ● 森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」の開催 …… 7 | ● 編集後記 …… 15 | |
| ● 令和6年度「全森建」技術・労働委員会開催 …… 8 | | |
| ● 治山林道技術研修会開催 …… 9 | | |

新年のご挨拶

徳島県知事

後藤田 正 純



明けましておめでとうございます。徳島県治山林道協会の皆様におかれては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今まさに地方の正念場、「地方創生戦国時代」のまっただ中との認識の下、私は知事就任以来、県民の皆様とビジョンや政策の共有を図りながら、前例踏襲を打破し、県民目線と現場主義で、新次元の政策実現に全力で取り組んでまいりました。

「未来に引き継げる徳島の実現」を基本理念とする、新たな県政運営指針「徳島新未来創生総合計画」では、若者をはじめ誰もが「ずっと居りたい」、一度離れても「いつも帰りたい」、国内外の方々が「みんな行きたい」を徳島県の目指す姿として掲げ、これらを実現するため、「安心度」「魅力度」「透明度」を高めることをミッションとしています。

この計画に基づき、スピード感を持って成果を上げるべく施策を展開し、昨年は、

●全国最大の上げ幅となる「最低賃金の引上げ」

●徳島と香港及び韓国を乗り換えなしで結ぶ通年の「国際定期便2路線の就航」

●「東京ディズニーリゾート® スペシャルパレード」も参加した「徳島おどりフェスタの開催」

などを実現することができました。

こうした新次元の政策を加速させ、県民の皆様は徳島新時代を一層実感いただけるよう、本年も全国・世界に目を向け、最良の事例を学び、「徳島モデル」となる施策を作り上げるとともに、地域経済の好循環を生み出し、持続可能な県勢発展につながる施策を重点的に実施してまいります。

具体的には、

●労働力不足の解消に向けた「持続的な賃金引上げの促進」や「生産性向上の支援」

●タイ政府機関と締結した経済連携覚書や新設した地域商社「徳島県産業国際化支援機構」を原動力とする「企業の海外展開支援・輸出拡大」

●新たに就航した国際定期便はもとより、本県が参画する「2025年大阪・関西万博」や四国初開催となる「食育

推進全国大会 in TOKUSHIMA」を活用した「観光振興」

●県市協調による「県都のまちづくり」などを進めます。

また、県勢発展の基盤となる安心度の向上に向け、

●本県こども施策の新たな道しるべ「徳島県こども計画」に基づく「こどもと子育ての支援」

●大規模災害に備えた生活・産業インフラの整備による「県土の強靱化・レジリエンス（回復力）の確保」

などに取り組めます。

森林が県土の四分の三を占める本県においては、「森林の強靱化」が不可欠であり、山地の防災・減災対策と路網による基盤整備を核とした治山林道事業を着実に推進してまいります。

「地方創生戦国時代」を本県が勝ち抜くためには、この二、三年が重要であると考えており、さらにギアを上げ、フルスイングで積極果敢に挑戦してまいりますので、徳島県治山林道協会会員の皆様、一緒に新時代を切り開いていきましょう。

新年のご挨拶

徳島県農林水産部長

中 藤 直 孝



明けましておめでとうございます。

徳島県治山林道協会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より治山林道事業をはじめ、本県農林水産行政全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、山地災害に備え、路網による基盤の充実を図る治山林道事業は、本県中山間地域の維持発展に不可欠な事業であります。

このため、県では、皆様にもご支援をいただいて令和三年度に開始された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を積極的に活用し、これまでに、七十一か所の治山施設における復旧・予防対策、一〇路線の林道における開設・改良工事を進めてきたところです。

しかしながら、昨年にも能登半島地震をはじめとした地震や豪雨による土砂災害が全国各地で発生し、多くの尊い命や貴重な財産が失われております。

「南海トラフ巨大地震」の発生が懸念される中、急峻な地形や多い雨量など山地に起因する災害が発生しやすい条件下

にある本県においては、森林の維持造成により災害の未然防止を図るとともに、被災した森林の早期復旧を進めることが何より重要であります。

このため、「5か年加速化対策」が終了する令和七年度以降を見据え、国の補正予算、令和七年度当初予算を最大限活用し、治山林道事業の着実な推進を図ってまいります。

また、産業・生活インフラであるとともに、観光資源としての役割も持つ林道に対する理解を深めるため、昨年十一月に開催した「剣山スーパー林道フェスタ」では、県内外から五〇〇名を超える参加をいただいたところです。引き続き、関係機関と連携して林道の魅力発信に努めてまいります。

さらに、地域の基幹産業として現場の工事を担い、災害時には「守り手」となる建設業の担い手確保に向け、こどもの頃から治山林道事業の魅力を感じ、学べる「土育（つちいく）」を展開していきます。

今後とも、皆様との緊密な連携のもと、いつ発生するとも知れない自然災害に打ち克つ「緑の県土強靱化」に全力で取り

組んでまいりる所存ですので、引き続き、ご支援・ご協力をお願いします。

結びにあたり、徳島県治山林道協会の更なるご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

何とぞ本年もよろしくお願いいたします。



治山林道事業に関する 知事への要望

令和六年十二月二日、後藤田徳島県知事に対し「治山林道事業に関する要望」を、山口会長はじめ役員十四名で行いました。

要望の主な内容は、

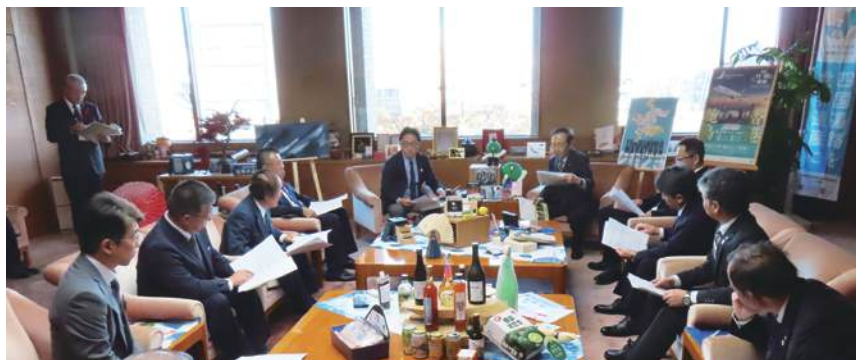
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な実施と今後も引き続き推進するために必要な予算の安定的・継続的確保
- ・大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実や強化など「緑の国土強靱化」の推進
- ・「地方創生」や「花粉削減・グリーン成長」の実現を目指す幹線林道を核とした路網整備の推進
- ・山間奥地等条件不利地での現場条件に応じた適切な設計積算や、昨今の資材価格高騰や賃上げを踏まえた適切な対応
- ・中山間地域を支える建設業者への若者をはじめとする担い手の就業につながる人材育成の推進

の5点で、令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算編成に向けた要望を行いました。



これに対し知事からは、「気候変動に伴う豪雨や南海トラフ巨大地震に備えた『防災・減災、国土強靱化』、『路網による基盤の充実』により、地方創生の実現に資する治山林道事業を積極的に推進して参りたい、そして、林業の活性化、関係人口を増やす施策なども考えていきたい。」との力強いお言葉をいただきました。

要望事項は次の通りです。



治山林道事業に

関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、森林は、県土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止等の多面的機能を有し、私たちの豊かな暮らしを育むなど、県民の生活に欠かすことのできない重要な役割を果たしております。

一方で、近年、地震や気候変動に伴う豪雨などによる自然災害が全国各地で発生しており、中でも能登半島においては地震からの復旧作業の最中に豪雨災害に見舞われ、山地の崩壊や河川の氾濫などにより多くの尊い人命や貴重な財産が失われたところです。

また、長引くウクライナ危機や中東情勢の緊迫化など国際情勢は緊張の度合いを増しており、我が国においても急激な

円安基調や資材価格の高騰など経済活動に大きな影響が出ているところです。

毎年のように接近・上陸する台風や、いつ発生するとも知れない「南海トラフ巨大地震」、さらには概して脆弱な地質構造など本県の状況を顧みた場合、中山間地域の生活環境の維持・増進に向けた森林の整備・保全は喫緊の課題であります。

この実現のためには、森林資源の循環利用に資する生産基盤の整備促進、大規模な自然災害に備える山地防災力の強化を一貫通貫で進める治山林道事業の着実な実施が不可欠と考えております。

つきましては、令和6年度補正予算及び令和7年度当初予算編成にあたりまして、県の財政事情が非常に厳しい中とは存じますが、次の事項について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な実施と、今後とも引き続き推進するために必要な予算

の安定的・継続的確保

○台風や集中豪雨、南海トラフや活断層帯の地震による大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実や強化など「県土強靱化」の推進

○「地方創生」や「花粉削減・グリーン成長」の実現を目指す幹線林道を核とした路網整備の推進

○山間奥地等条件不利地での現場条件に応じた適切な設計積算や昨今の資材価格高騰や賃上げを踏まえた適切な対応

○中山間地域の安全安心や暮らしを支える建設業者への若者をはじめとする担い手の就業につながる人材育成の推進

令和六年十二月

徳島県治山林道協会 会長

山口 俊一

「2024治山・林道のつどい」及び 治山・林道コンクール表彰式の開催

令和六年十一月二十日、東京都千代田区平河町の海運クラブ2階ホールにおいて、「2024治山・林道のつどい」が、全国治山林道協会会長会議の主催で開催されました。

今年度のつどいは、九四名の国会議員を迎えるとともに、本協会員をはじめ、全国森林土木建設業協会、日本林業土木連合協会及び各都道府県治山林道関係者が全国各地より集結し、四五〇名をこえる方々が参加されました。

この「つどい」は、頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、国産材の安定かつ持続的な供給体制構築のための林道等路網整備の強力な推進、森林吸収源対策の着実な推進、花粉症対策の加速化等に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった要請活動として行われました。

山口会長の挨拶、滝波農林水産副大臣の祝辞に続き、林野庁眞城国有林部長から森林整備事業・治山事業の推進についての「基調報告」、そして現場の第一線でご尽力されている青森県と岐阜県の協会長による「現場からの声」の後、「林野公共事業予算の拡充に関する決議文」が採択され、盛会のうちに終了しました。

「つどい」終了後には本県選出の国会議員に対し、決議内容について要望活動を実施し、各事項についてご理解ご賛同をいただきました。



2024治山・林道のつどい

また、「つどい」に引き続き、令和六年度治山・林道コンクール表彰式が行われました。本県では、林野庁長官表彰二名をはじめ、併せて五名の方々が各賞を受賞されました。受賞者の皆様方はつぎのとおりです。誠にありがとうございます。



滝波農林水産副大臣の祝辞



山口会長の挨拶



表彰式の状況



受賞者と山口会長



林道維持管理コンクールにおいて、林野庁長官賞受賞



林道工事コンクールにおいて、林野庁長官賞受賞



林道工事：日和茶坂瀬線



林道維持管理：下司林谷線

治山・林道コンクール表彰者

林野庁長官賞

●第四十七回林道維持管理コンクール

那賀町長

橋本浩志

下司林谷線

●第四十回民有林林道工事コンクール

創建設有限公司

三好市

日和茶坂瀬線落合工区

小椋富士夫

日本治山治水協会長賞

●第四十回民有林林道工事コンクール

株式会社井上組

井上惣介

つるぎ町 緊急予防治山事業 紙屋

●第二十五回民有林治山木材使用工事コンクール

徳島県東部農林局林務担当

阿波市 復旧治山事業 宮川内

日本林道協会長賞

●第二十五回民有林林道木材使用工事コンクール

有限会社小林建設

小林 広

三好市 川崎国見山線西祖谷山区

森林整備・治山事業促進議員連盟 「緊急決起大会」の開催

令和六年十一月十九日午後五時から、森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」が、参議院議員一〇一会議室において開催されました。

昨今の災害の激化や国内の木材供給の変動等の情勢を踏まえ、国民の「いのち」と「暮らし」を守る「緑の国土強靱化」をはじめ、林業の持続的な発展やカーボンニュートラル等の実現、花粉症対策、更には経済安全保障の観点から国産材安定供給体制の確保等に向け、林野公共事業は不可欠であり、令和七年度当初予算を確実に措置確保するとともに、国土強靱化に向けた予算も含め林野公共事業予算の一層の増額を目指し、一致団結してこれに対処するため、関係者が集結しました。

臨時国会前の多忙な時期でありましたが、国会議員三六名をはじめ関係者約八〇名の方々が参加されました。

冒頭で山口会長から「森林整備を含む国土強靱化五か年加速化対策を実施しているが、まだまだ対策が必要な箇所がある。また、林道をはじめ森林整備予算についても、花粉症対策を含めた取組が必要。林野公共事業予算は、あと一息で二、七〇〇億円に届

く水準であるが、関係者が一致団結して、予算確保に向けて全力で頑張っていきたい。」との力強い挨拶に続き、現場の第一線で尽力されている秋田県上小阿仁村 小林村長・石川県森連 近藤会長からの切実な「現場の声」、更に関係団体から要望陳述の後、滝波事務局長により読み上げられた決議文が採択され、山口会長から「予算獲得に向け、財務省へ頑張つて要請に行こう」との決意表明で、盛会の内に終了しました。



決議文を読み上げる滝波事務局長



山口会長の挨拶



議事を進める事務局



「緊急決起大会」開催状況

令和六年度「全森建」技術・労働委員会開催

令和六年十一月十二日、東京都千代田区永田町山王グラウンドビルにおいて、「全森建」技術・労働委員会が開催されました。当委員会は、徳島県治山林道協会施工委員会の全国版に相当するもので、年一回開催され、各都道府県協会から提出された設計・積算等に関する改善要望事項について、林野庁と意見交換が行われました。

林野庁からは、計画課施工企画調整室・整備課・治山課の各設計積算担当官に御臨席いただき、全森建からは、河内委員長（石川県森林土木協会副会長）ほか各地区代表者十一名の委員が参加しました。

各都道府県協会から事前提出のあった三十五項目の改善要望事項について、それぞれの内容に応じて「設計」「歩掛」「積算」「その他」に区分し、林野庁の考え方を説明いただきながら、各委員との活発な意見交換が行われました。

また、林野庁からは、令和六年能登半島地震及び九月二十日からの大雨に関する情報提供がありました。

本協会は、四国地区代表として参加し、「森林土木工事の施工条件の特性等を踏まえた適切な事業の推進」に向けた次の二件を要望しました。これらの要望については、本委員会における議論を踏まえ、



林野庁計画課施工企画調整室
有山室長挨拶



河内委員長挨拶



林野庁見解の説明



技術・労働委員会開催状況

◎ 徳島県要望事項

積算関連

・ 森林土木事業における労務費補正等（担い手対策）

・ ロッククライミングマシン等、特殊な機械の運搬費の積算

令和六年度末を用途に林野庁の対応等について整理していただくこととなりました。
今後とも本協会施工委員と連携し、地域の実情に応じた要望をあげていきたいと考えております。

治山林道技術研修会開催



主催者あいさつ

十月二十二日から二十四日の三日間において、徳島県建設業協会及び徳島県のご協力のもと、令和六年度治山林道技術研修会を開催しました。

今年度の技術研修会も、「三密回避」のため、会場を西部・東部・南部に三分割して連日開催しました。更には西部会場においては、ZOOMを活用し、メイン会場（三好）からサテライト会場（美馬）へ研修状況をweb配信するハイブリッド形式により実施しました。

初日の西部会場を皮切りに、講師の諸先生方により、林道の強靱化、安全で事故のない現場管理、そして日々変貌する労働環境の変化への対応など会員



ZOOMによる研修のオンライン配信

の技術力向上を目指した研修を実施し、四会場で一四三名の方々が受講されました。

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度CPDSの受講証明書（6単位）を交付しました。

今後とも、会員の皆様方の受講環境等を整備するとともに、ZOOMの活用等により、研修効果の向



西部メイン会場

上に努めて参ります。

研修の講師及び概要については次のとおりです。（敬称は略させて頂きます。）

研修Ⅰ 気候変動に対応した治山事業の推進について

徳島県農林水産部

森林土木・保全課

主査兼係長

村上 高夫

毎年日本各地で豪雨による山地災害が激甚化・頻発化する傾向にあるため、近年の徳島県内での山地災害発生メカニズム等を考察するとともに、今後の

豪雨災害への事前防災・減災対策の推進等について解説する。

研修Ⅱ 労働安全衛生について

三好労働基準監督署 労働基準監督官 坂根 空
徳島労働基準監督署 労働基準監督官 小浦 諒
阿南労働基準監督署 労働基準監督官 北上 祐二

全国の労働災害建設業関係の概況と徳島県における労働災害の実態について解説し、その具体的事例から原因究明と治山林道現場における労働災害の回避策についての演習を行う。



西部サテライト会場

研修Ⅲ 林道の強靱化について

E-Project22 株式会社 代表取締役 古谷 治久

令和六年一月一日に発生した能登半島地震における林道災害発生状況を検証し、林道災害発生メカニズム等を考察するとともに、近年の頻発化・激甚化する豪雨に対応し、施工管理技術者に必要な林道施設の強靱化に向けた設計施工や維持管理に関する知識・技術を解説する。



東部会場

研修Ⅳ 土木技術者の原点と今後の対応セミナー

ナーク

株式会社コンピュータシステム研究所 松野 哲哉

治山林道事業の現場における安全管理を多様な側面からの考え方や目的について解説するとともに、新たな視点からの安全管理について事例に基づき解説する。

また、令和五年九月のコンクリート標準示方書(施工編)の改正内容について、解説するとともに、施工管理・安全管理も含め日々進化する事例を考察する。



南部会場

土育推進プロジェクトチーム

徳島県は、土育が推進出来るよう、森林土木・保全課長をプロジェクトリーダーとし、各県民局の森林土木担当で構成するプロジェクトチームを設置し、今年度より本格的に活動を実施しています。土育とは、子供の頃から「土に触れ」、森林土木

の魅力を「体感し」、「学ぶ」ことを目指す「新たな森林環境教育」であり、森林土木を身近に感じてもらい、将来の森林土木事業を担っていく、中山間地域を守る、未来を見据えた人材の育成確保を図ることを目的にしています。

本協会も、チームの一員として活動に参画し、県内一円で別表のとおり、土育出前授業を実施しています。出前授業を通じて、「森林土木事業の重要性が理解出来た。」「森林土木の仕事に興味を持った。」などの感想を参加者からいただくことが出来ました。今後とも県と連携し、未来を担う若者の就業促進を図って参りたいと考えております。



土育出前授業（東祖谷小・中学校）



重機の搭乗体験（貞光小学校）



森林ふれあい学習（上勝小学校）



ドローンの操作体験（東祖谷小・中学校）

令和6年度土育出前授業実施状況

日時	場所	実施内容
2024年6月25日	上勝町立上勝小学校	森林ふれあい学習、枝打体験
7月10日	美馬市立江原中学校	防災学習、土砂災害VR体験、ドローン操作体験
10月8日	三好市立東祖谷小・中学校	森林教室、ドローン操作体験、重機搭乗体験他
10月24日	つるぎ町立貞光小学校	森林教室、重機搭乗体験
11月14日	つるぎ町立半田小学校	森林教室、重機搭乗体験
2025年1月30日 予定	徳島県立阿南光高等学校	治山林道事業紹介、業務プレゼン他
3月中旬 予定	海陽町立海陽中学校	森林教室等

今回は、お忙しい中、私達のために土育出前授業をしていただき、ありがとうございました。今回の授業では、お姉さんやお父さんや日々している仕事を重機を使って体で感じることで、今日の授業でドローンや重機を初めて操作してみても、難しかったですが、しかし、初めて体験したことだからこそ、とても楽しむことが出来ました。特に、ドローンとショベルカーの操作は難しかったですが、輪っかに通したり、土をすくい上げたりできると楽しかったです。今回の授業を通して、将来林業の仕事に就きたいなと思いました。今回は本当にありがとうございました。

今日は私達のために貴重な体験とありがとうございました。重機に乗ったりドローンと操縦したり、手動で作ったり、本当に貴重な体験ができました。最初のビデオを見て、森林土木のお仕事に興味を持ちました。ドローンが重機体験で初めて乗った経験として思い返すのがとても楽しかったです。しかし、少し怖かったり、ドキドキしました。今日の授業で、自分の道路の視野が広がりました。



「雑感」

東部農林水産局（徳島）
森林土木担当課長 西岡 篤



明けましておめでとございます。
会員の皆様におかれましては、清々しく新しい年を迎えられたことお喜び申し上げます。日頃より当管内の森林土木関係事業の推進にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、入庁後、四度目の年男を迎えることになりました。これまで無事にこの歳まで来れたのは、家族のおかげ、そしてなによりも私に関わってくれたすべての方々のおかげと感謝する次第です。早いものでもう六十歳、本誌に年男の度に寄稿依頼を受けていたこともあり、過去三度の年男時代を振り返りたいと思います。

十二年前の平成二十五年（二〇一三年）、この頃は本庁勤務で、通常業務の忙しさに加え、幾度かの補正予算の積み増しによる予算編成業務など山積みの仕事に追われ、唯々慌ただしい日々でした。

また平成二十三年発生の東日本大震災による海岸林の被害を受け、県内海岸林の現況把握や津波軽減に関する調査などもあり無知な自分を恥じながら、この時初めて治山技術基準（黒本）の防災林造成編を手に取り学び始めのスタートでした。

翌年には、津波被害を受けた福島県沿岸部の国有林を訪れる機会があり、見渡す限りの広大な区域で実施されている海岸林造成復旧工事の周辺には、津波で押し倒されたクロマツや根株等が未だあちこちにてんでん盛りされた光景は、津波の破壊力の凄さ、自然の猛威

は人間が自然の力にどれほど依存し、無力であるかを改めて感じた瞬間でありました。

二十四年前の平成十三年（二〇〇一年）は、数少ない地元美馬（旧脇町農林事務所）勤務。この頃は治山担当として、計画書作成から設計積算監督まで一通りこなし、パソコンは既に一人一台割り当てられ、業務の効率化がかなり進められていました。ただ計画写真等はフィルムカメラ撮影が主流であったため、撮る度にフィルムを写真屋に持って行き現像してもらい、その写真を台紙に貼り付ける。今、考えるとその手間の多さに一層懐かしく思うとともに、「ネガのベタ焼き整理保管」もやるべき一つであった意識が何気ない一瞬を撮るにも計画的な撮影が求められていた感覚でした。

さらに遡ること三十六年前。日本がバブルに沸いた昭和末期（一九八九年）は那賀勤務（旧阿南農林事務所）。若かりし頃、バブル経済の恩恵を受けた記憶はゼロですが、今思えば、当時の日常生活におけるその派手で過剰な消費文化は周囲では当たり前のように見られていたのだと、ごく自然な光景だったんですね。

ただ、ここ那賀では仕事だけでなく、隣接する宿舎で二十人程が寝食を共にする学生寮のような共同生活を送り、土曜日「半ドン」と言われ午前中は仕事。ほぼ毎日顔を合わす事になれば、必然的にコミュニケーションを取るようになり、身につけておくべき人間関係の作り方の基礎を学んだように思います。

また相次いだ山地災害発生地を早急に復旧整備するという命題とともに予防事業や水源事業にも注力すべきという施策方針と相まって活発な事業展開がなされていきました。当時の担当現場は本流での施工が多くあったこともあり、そこそこ壮大で知る人ぞ知る久井谷では治山ダム放水路高が2.5m。檜戸谷では放水路下幅が四十mをゆうに超え、今ではあり得ないような設計内容であったことを鮮明に憶えています。

振り返ると、年男の時だけでも思いつくことが沢山あります。それだけ濃く充実した時間を過ごしてきたということ、まさに貴重な一瞬であったのかもしれません。人生の後半戦となる第4四半期は、これまでの

「年男の抱負」

株式会社山全 上田 裕久



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、皆様方には大変お世話になりました。今年はさらに成長できるように努力していきますので、本年度も指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年は、「巳年」です。蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。

「脱皮して以て大蛇となる」この言葉のように、過去の自分を脱ぎ捨て、新しい挑戦と共にさらなる成長をしていく一年にしていきたいと思っています。

思い起こせば二十四年前の年男の年に建設業界に入り、最初は失敗の連続でくじけそうになったこともありましたが、仲間達に励まされ支えられ、やりがいや楽しさを知り、もつと腕を上げたい、もつとよりよいやり方はないかと色々な資格に挑戦し、また、様々な講習会に参加するなど気づけば早いものであったという間の二十四年間でした。

さて、そうした中、気象等自然災害でもいろんな事がありました。温暖化にともない異常気象でゲリラ豪雨が頻発するようになり、今まで降ったことのない量の豪雨で山腹の崩壊などの災害が発生し、また、地震では東日本大震災、能登半島地震の発生、徳島県でも南海トラフ巨大地震が近年発生する事が予想されています。災害が起こった時に、会社の仲間達や地域の皆様と協力し、私の経験や知識が少しでもお役に立てるように日々努力していこうと思っています。

最後になりましたが本年も皆様方にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

経験と学びを踏まえ反省しつつ、ヘビのように細長くしなやかに歩んでいきたいものです。
末筆ではございますが、小生四度目の「雑感」の無駄な時間にお付き合いいただき、お礼を申し上げますとともに皆様方におかれましては、本年がより一層よい年でありますようお願い申し上げます。

2025年度版 (2025.4.1~2026.3.31)

全森建福祉共済制度

— 災害保障特約付団体定期保険 —

ご加入のすすめ



制度の特長

1. お手頃な掛金で大きな保障が得られます。
2. 業務上・業務外を問わず24時間保障されます。
3. 制度への加入申込み、保険金等の受取人は事業主となります。
4. 掛金は全額損金または必要経費に算入できます。
5. 保険期間は1年で剰余金があれば配当金として還元されます。
6. 医師の診査はなく告知書扱いで加入申込手続きができます。

【ご意向に沿った商品内容が必ずご確認ください】

この保険は、死亡等の保障を目的とする保険期間1年、保険料掛け捨て型の生命保険です。
重要事項説明(契約概要・注意喚起情報)ならびに「当パンフレット」に記載の保障内容・保険金額・保険料等がお客様の
ご意向に沿った内容となっているかを必ず確認のうえ、お申込みください。

お問い合わせ先



一般社団法人 全国森林土木建設業協会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル3F

TEL(03)3581-3336 FAX(03)3581-3341

福祉共済制度

山間僻地を共通の仕事場とする「全森建」会員のリスクを全国の仲間で分担し合い、スケールメリットを生かして、会員の事業発展に寄与するとともに「全森建」の絆を更に深めるために創設された制度です。

保障内容と月払掛金

希望の口数をご自由に選択してください。

加 入 口 数		1 口		2 口		3 口		4 口		5 口	
病 気 に よ る 場 合	死 亡 保 険 金 〔 病 気 等 に よ り 死 亡 さ れ た と き 〕	200万円		400万円		600万円		800万円		1,000万円	
	高 度 障 害 保 険 金 〔 病 気 等 に よ り 別 表 1 の 第 1 級 （ 高 度 障 害 状 態 ） に な れ た と き 〕										
不 慮 の 事 故 に よ る 場 合	死 亡 保 険 金 ＋ 災 害 保 険 金 〔 不 慮 の 事 故 又 は 別 表 2 の 感 染 症 に よ り 死 亡 さ れ た と き 〕	300万円		600万円		900万円		1,200万円		1,500万円	
	高 度 障 害 保 険 金 ＋ 障 害 給 付 金 〔 不 慮 の 事 故 に よ り 別 表 1 の 第 1 級 （ 高 度 障 害 状 態 ） に な れ た と き 〕										
	障 害 給 付 金 〔 不 慮 の 事 故 に よ り 別 表 1 の 第 2 級 ～ 第 6 級 の 障 害 状 態 に な れ た と き 〕	70万円～ 10万円		140万円～ 20万円		210万円～ 30万円		280万円～ 40万円		350万円～ 50万円	
	入 院 給 付 金 〔 不 慮 の 事 故 に よ り 5 日 以 上 入 院 さ れ た と き 、 た だ し 1 2 0 日 限 度 〕	1 日 に つ き 1,500円		1 日 に つ き 3,000円		1 日 に つ き 4,500円		1 日 に つ き 6,000円		1 日 に つ き 7,500円	
年 齢（生年月日）性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
月 払 掛 金 （ 概 算 ）	15歳～35歳 （H1.10.1生～H22.9.30生）	474	391	948	782	1,422	1,173	1,896	1,564	2,370	1,955
	36歳～40歳 （S59.10.1生～H1.9.30生）	526	473	1,052	946	1,578	1,419	2,104	1,892	2,630	2,365
	41歳～45歳 （S54.10.1生～S59.9.30生）	612	519	1,224	1,038	1,836	1,557	2,448	2,076	3,060	2,595
	46歳～50歳 （S49.10.1生～S54.9.30生）	754	623	1,508	1,246	2,262	1,869	3,016	2,492	3,770	3,115
	51歳～55歳 （S44.10.1生～S49.9.30生）	968	747	1,936	1,494	2,904	2,241	3,872	2,988	4,840	3,735
	56歳～60歳 （S39.10.1生～S44.9.30生）	1,272	875	2,544	1,750	3,816	2,625	5,088	3,500	6,360	4,375
	61歳～65歳 （S34.10.1生～S39.9.30生）	1,796	1,073	3,592	2,146	（単位：円）					
66歳～70歳 （S29.10.1生～S34.9.30生）	2,526	1,353	5,052	2,706							

（記載の掛金は加入総口数が2,500口以上5,000口未満の場合です。）

☆更新時の年齢により、掛金は変わりますのでご確認ください。

☆記載の掛金は概算掛金であって、正規掛金は申込み締切後算出し、初回より適用します。

☆掛金には制度運営費が含まれています。（保険料とは、掛金から制度運営費を除いた分をいいます。）

★ 保障内容について ★

- ◆死 亡 保 険 金 保険期間中に死亡されたとき、お支払いします。
- ◆高度障害保険金 加入（増額）日以後の病気やケガによって、保険期間中に別表1の第1級（高度障害状態）に該当されたとき、お支払いします。
- ◆災 害 保 険 金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に死亡されたとき、または保険期間中に発病した別表2の感染症により死亡されたとき、お支払いします。
- ◆障 害 給 付 金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に別表1の障害状態に該当されたとき、お支払いします。
- ◆入 院 給 付 金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に日本における病院・診療所またはこれと同等とみなされる日本国外の医療施設にその傷害の治療目的で5日以上入院されたとき、1日につき、所定の入院給付金をお支払いします（1日目から）。ただし、同一の不慮の事故について通算して120日（更新前の入院日数を含みます。）を限度としてお支払いします。

※不慮の事故とは急激かつ偶発的な外来の事故で約款に定めるものをいいます。

令和6年度

全国森林土木建設業協会写真コンクール



全国森林土木建設業協会主催の森林土木写真コンクールにおいて、当協会が推薦した市谷敏和さん（阿南市）の作品が、全国第二席の優秀賞を受賞しました。誠にありがとうございます。

本コンクールの趣旨は、森林土木の各種事業が、森林・林業を基盤から支えると共に、国民の生命財産を守っているという極めて重要な事業であることを広く国民各層に浸透させ、理解を深めるために実施しています。

市谷さんの作品は、スギ人工林の中を資源循環利用を目的に開設した林道を撮影したもので、審査員からは写真だけでなく、地形に合った測量設計及び施工状況も評価され、優秀賞に選定されました。なお、本作品は全国森林土木建設業協会の令和7年度労働安全ポスターに採用される予定です。

とくしま木づかいフェア2024への出展

令和六年十月二十六・二十七日の二日間、板野町「あすたむらんど」において、とくしま木づかいフェア2024が開催され、徳島県治山林道協会ブースを出展しました。

初日はあいにくの雨天でしたが、二日目はお天気に恵まれ、二日間で七千人を超える来場者があり、親子連れを中心に、興味深く展示を観覧していただきました。

出展内容としては、金太郎でおなじみの「来たれ森林土木」魅力発信動画を上映するとともに、治山林道工事における木材の利用状況や防災減災等に関するパネルを展示しました。

また、毎年好評の「ミニドローン」のコーナーでは、操作体験を通じて災害時の活用方法を説明するなど、親子で楽しんでいたいただきました。

また、山地災害の危険信号や治山事業の効果等を印刷した、紙製クリアファイル配布し、「県民の暮らしの安心安全に向けた普及啓発活動を実施するとともに、「林業の成長産業化」を支える「縁の下力持ち」として、幅広く県民にPRすることができました。



ミニドロンの操作体験



普及啓発活動



出展状況

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて昨年は、経済状況は緩やかに回復したものの、長引くウクライナ危機や緊迫化する中東紛争に加え、第二次トランプ政権に向けた予断を許さない国際情勢、更には衆議院選挙で大敗した自民党が少数与党になるなど、波乱の一年でした。また、気候変動の影響に伴う記録的大雨の頻発化や台風の大型化などにより、東北地方をはじめ各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。

このような中で、防災・減災・国土強靱化の推進を含む「経済対策」のための補正予算と令和7年度当初予算を合わせた林野一般公共事業予算は、目標額の2,600億円を大きく上回る2,735億円を確保することができました。

これはひとえに、会員の皆様のご支援・ご協力の賜物です、誠にありがとうございます。今後とも引き続き予算獲得に向け十分気を引き締めて、取り組んで参りたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

編集責任者 井関 廣幸

本協会の主な動向 (10月～12月)

- | | | |
|-----|--------|--|
| 10月 | 3日(木) | 全国治山林道協会会長会議 (秋田市) |
| | 4日(金) | 〃 (仙北市) |
| | 8日(火) | 令和6年度土育:つちいく(三好市:東祖谷小・中学校) |
| | 22日(火) | 令和6年度治山林道技術研修会
(西部会場:三好市・美馬市) |
| | 23日(水) | 〃 (東部会場:徳島市) |
| | 24日(木) | 〃 (南部会場:那賀町) |
| | 26日(土) | とくしま木づかいフェア2024(板野町:あすたむらんど) |
| | 27日(日) | 〃 |
| 11月 | 6日(水) | 令和6年度施工委員会コンサル関連意見交換会(徳島市) |
| | 12日(火) | 令和6年度全国森林土木建設業協会技術労働委員会(東京都) |
| | 19日(火) | 森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」(東京都) |
| | 20日(水) | 令和6年度日本林道協会通常総会 (東京都)
2024治山・林道のつどい (東京都) |
| | | 令和6年度治山・林道コンクール表彰式 (東京都) |
| | 21日(木) | 徳島県選出国會議員要望活動 (東京都) |
| | 28日(木) | 令和6年度全国森林土木建設業協会中国四国ブロック会議(広島市) |
| 12月 | 2日(月) | 令和6年度治山林道事業に関する知事要望(徳島市) |
| | 4日(水) | 令和6年度治山林道積算セミナー(美馬市:清月屋敷) |
| | 5日(木) | 令和6年度治山林道積算セミナー(那賀町:建設業協会那賀支部) |
| | 19日(木) | 令和6年度三好土木治山林道協会通常総会(三好市) |